

## 小中学校少人数（35人以下）学級編成の実施

### 1 概要

子どもたちの学力向上及び個に応じたきめ細やかな指導の実現のため、国・北海道の少人数（35人以下）学級基準から外れるすべての学年において、町費で任用する教員を配置し、少人数学級編成を実施する。

#### 【令和3年度 学級編成】

（児童生徒数は、普通学級・見込）

##### ■小学校

	鷹栖小学校		北野小学校		少人数(35人以下) 学級基準
	児童数	学級数	児童数	学級数	
1年	18	1	33	1	国
2年	18	1	24	1	国
3年	16	1	23	1	北海道
4年	13	1	25	1	北海道
5年	25	1	29	1	鷹栖町
6年	15	1	34	1	鷹栖町

##### ■鷹栖中学校

	生徒数	学級数	少人数(35人以下) 学級基準
1年	58	2 (32人・31人)	北海道
2年	80	3 (27人・27人・26人)	鷹栖町
3年	70	2 (35人・35人)	鷹栖町

※鷹栖中学校 新2年生は、鷹栖町基準がない場合2学級（40人・40人）になる。

### 2 少人数学級編成の実施効果

- ・教室にゆとりのスペースが生まれ、学習環境が向上する。
- ・教員が個の学習状況を把握しやすくなり、それに応じた対応に取り組みやすくなる。
- ・発言・発表など生徒一人ひとりの活動の場が増加する。
- ・不登校や問題行動の早期対応につながる。
- ・基本的な生活習慣の確立や望ましい学級集団づくりが実現しやすくなる。
- ・中学校入学の際、円滑な移行と「中1ギャップ」の解消が期待できる。（小学校）